

Time is money!!

人間にはお金で買うことができない、平等に与えられているものが1つあります。それは何でしょう？

みんなは誰かに「今、1番ほしいものは何？」と聞かれたら、どう答えますか？秋田は、即答で“時間”と答えます。

理由は、とにかく平日、土日関係なくいろいろなことをしています。平日は、当然仕事、家でのくつろぎの時間。そのくつろぎの時間にやりたいことがたくさんあります。土曜日、日曜日では、部活動や部活動以外でのサッカーに関するここと。そして、家族との時間。など、とにかくいろいろなことをやりたい、という欲があるため“時間”がほしいです。

アメリカ合衆国建国の父の1人で、100ドル札紙幣の肖像画にも描かれている、政治家、作家、物理学者として多方面で活躍したベンジャミン・フランクリンという人をみんなは知っていますか？見出しに書いている“Time is money”日本語に直すと“時は金なり”を言ったとされている人物です。聞いたことのある人もいるでしょう！！

直訳するのであれば『時間はお金そのものであることを忘れるな』といった意味になります。「時間を空費するなれ。つねに何か益あることに従うべし。無用の行いはすべて断つべし」とも言われています。

なぜ今号で“Time is money”という話題を取り上げたか？です。どうでしょう？

“時間”は、この世の中で生きている人に与えられた、お金で買うことができない“平等”的ものです。みんなにこの与えられている“時間”をベンジャミン・フランクリン氏が言っておられるように、“つねに何か益のあることに従うべし。無用の行いはすべて断つべし。”ということと自分の生活を比べてもらいたい、と思い取り上げました。

例えば、そうじが終わったあと、1秒でも早く部活動に行き、レベルアップの時間にしていますか？給食の準備の時、配膳作業に協力するために、手洗いをすみやかに行っていますか？（トイレに行ってうだうだしゃべっていませんか？）など、たくさんの場面で、有益になるための時間が使われているかを考えられる場面があるはずです。あなたは時間を無駄に使っていませんか？

学校は、個人の有益も考えながら、集団の有益も考える場所であります。自分の時間の使い方ひとつで、個人の有益と集団の有益を得ることができます。

“平等”に与えられている時間。全ての人が有益になるように使いたいものですね。

“Time is money”（時は金なり）

生徒作文・感想文集 学年体育大会を振り返って!! PART 2

今号は、前期保体委員として活動し、今回の体育大会の企画、運営をしてくれた人の作文を紹介したいと思います。

1組

体育大会を行って良かったことは、2つあります。

1つは、みんなで楽しんで盛り上がれたことです。なぜなら、最初はみんなに楽しんでもらえるか不安だったけど、体育大会が終わった時には、自分で楽しんでいたからです。

2つ目は、計画通りにできたことです。なぜなら、計画通りにできるか分からなかったけど、わからないこととかあっても、保体委員で協力し合って計画通りにできたからです。

2組

私が今回の体育大会で感じたことは、準備の大変さです。2時間のためにたくさんの時間をつかい、とても大変でした。普段の授業でもたくさんの時間を使って作っていると思ったので、真剣にしていこうと思いました。

3組

今年の体育大会は自分たちで1から企画をしました。とても悩む所もありましたが、本番にやり切れ、良いかたちで終わって良かったです。とても良い経験になりました。

今回の体育大会で学んだことは、企画者自身が楽しみ、みんなを盛り上げることです。これからもこの経験を生かして頑張りたいです。

3組

今年はいろんな行事がなくなって、学年だけでの体育大会でした。

昨年のように学年でパフォーマンスするなどはありませんでしたが、とても盛りあがっていました。

1つ目は、楽しんでいたことです。競技が少ないので盛り上がるか不安でしたが、みんな楽しんでくれていてとてもうれしかったです。

2つ目は、臨機応変にできたことです。いろいろ予想外のこともありましたが、保体委員が協力してやり切ることができました。

体育大会が成功したのは、時間を作ってくださった先生方、盛り上がってくれたみんなのおかげです。本当にありがとうございました。

後期が始まり他の委員で活動している人もいました。しかし、前期から企画がスタートしたこともあり、この体育大会まで仕事をしてくれました。しっかり責任を自覚し、取り組んでくれました。ご苦労様でした。